



善遊善学

令和7年
1月27日
10号
編集責任
古村 里香

馬のように今年度の重点目標を達成しよう！

冬休み明けの集会では、今年度の重点目標「目標に向かって仲間と支え合い、努力する児童生徒の育成 ～鍛えあおう・褒めあおう～」に沿って、干支「午（うま）」にちなんだ話をしました。



まずは、「鍛えあおう」です。

馬が速く遠くまで走れるようになるためには、日々の訓練が欠かせません。皆さんも、勉強や運動、自分の好きなことに対して、高い目標を掲げてください。一人ではくじけそうな時も、隣にいる仲間が頑張る姿を見て、「自分ももう一歩！あと少し頑張ろう！」と互いを高め合える、そんなたくましい集団であってほしいと願っています。

つぎに、「褒めあおう」です。

馬はとても繊細な心を持ち、優しく声をかけられることで力を発揮します。皆さんも、友達の良いところを見つけ、言葉にして伝えてください。目標に向かって努力している友だちに「すごいね」「頑張っているね」と声をかけ合う、その温かい言葉が友達や自分自身の心のエネルギーになります。

1年生から9年生まで、学年を越えて手を取り合い、3月まで全力で駆け抜けましょう。

皆さんの努力が、馬の蹄（ひづめ）の音のように力強く、この学校に響き渡ることを期待しています。

8年生 修学旅行（奈良～京都 3泊4日）

長旅を経て到着した奈良県吉野町。初日は「中井春風堂」にて、職人の講話や葛切り体験を通じ、手間暇かけて作られる伝統食「吉野本葛」の奥深さに触れました。

翌朝は、厳かな寒さの金峯山寺蔵王堂で勤行に臨み、心身を引き締めました。



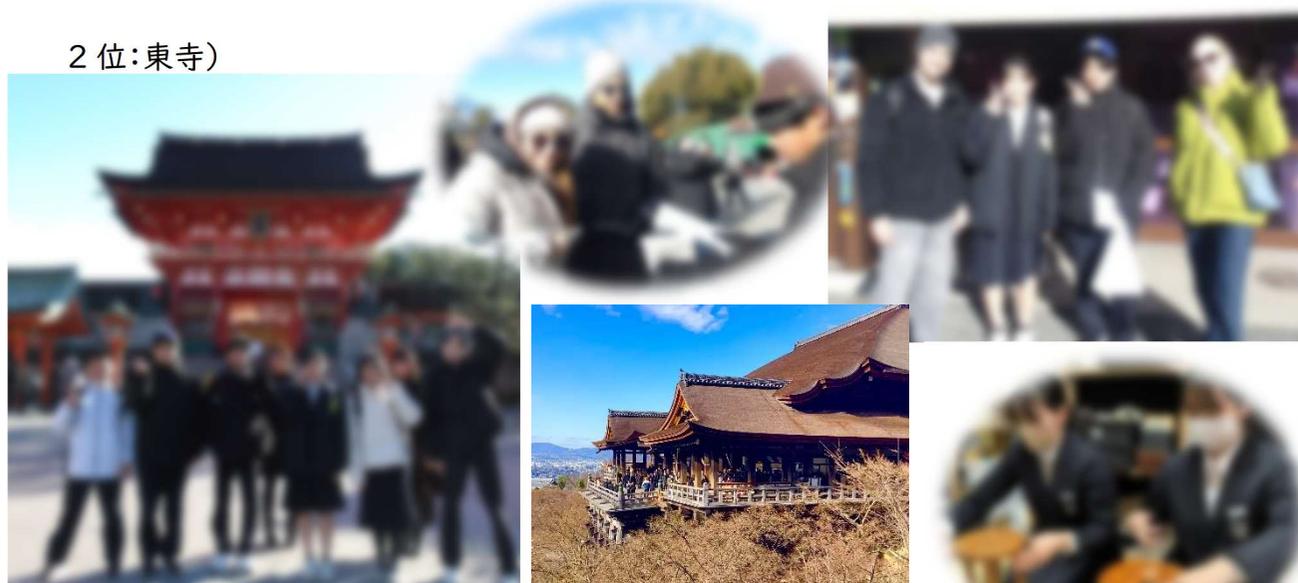
吉野さくら学園との交流会では、8年生が22名の同級生に対し、物怖じせず立派に自己紹介や学校紹介を行い、頼もしい姿を見せてくれました。レクリエーションでは驚くほどの速さで打ち解け合い、旧知の仲のように笑顔で交流する姿に、両校の生徒が持つコミュニケーション力の高さを実感する時間となりました。



吉野さくら学園では、柿の葉寿司など奈良の郷土料理を囲んで給食を共にしました。別
れの際、涙を流して惜しんでくれた現地の生徒たちの姿に、交流の深さが表れていま
した。温かく迎えてくださった吉野町の皆様のご厚意に、深く感謝いたします。



3 日目の京都研修では、伏見稲荷大社を起点に班別行動を実施。世界各国の方々へ
の英語インタビューに挑戦し、生きた英語を実践しました。(心に残った場所！位：二条城、
2 位：東寺)

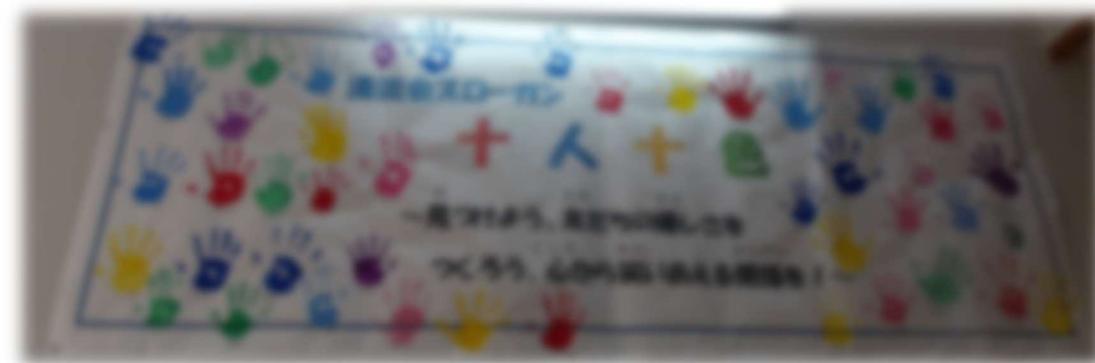


最終日は組紐作り体験と清水寺拝観を行い、
自分だけの素敵な作品を手に帰路につきました。

「本物」の文化や歴史に触れ、仲間との絆をさらに深めたこの旅。
生徒たちはこの貴重な経験を糧に、また一歩大きく成長しました。



清流会 スローガン完成!



本校では、秋より「新清流会」が始動します。新清流会スローガンは、「十人十色」～見
つけよう、友だちの優しさ つくろう、心から笑い合える関係を!～です。

このスローガンには、周りのみんなの個性や優しさを認め合い、互いの絆をさらに深め
ていきたいという願いが込められています。その象徴として、1年生から9年生全員の「カ
ラフルな手形」をひとつに集めたスローガンが完成しました。全校児童生徒がこの手形の
ように手を取り合い、誰もが自分らしく、笑顔で過ごせる学校を共に築いていくことを期待
しています。

大雪・積雪・凍結時について

- ・登校後の急な大雪の場合……下校時刻や部活動を中止するなどして早めに下校をさ
せる場合は、メール配信いたします。
- ・登校時刻を遅らせる。または、休校の場合……7時にはメール配信いたします。

通学路の凍結や大雪で登校困難な場合は、決して無理に登校せず、安全を確認して登
校するよう、家庭でのお声掛けをお願いいたします。

地区ごとに状況が異なりますので、登校が遅れる場合は学校に
ご連絡をお願いします。

